



インフルエンザと咽頭結膜熱

インフルエンザ

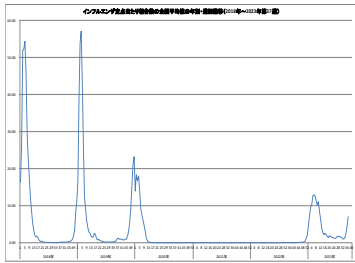


図1. インフルエンザ定点当たり報告数全国平均値の年次別週別推移 (2018年～2023年第37週)

まずはインフルエンザについて記述します。2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の国内流行の影響により、インフルエンザの本格的な流行は3年間以上にわたって国内では認められませんでした。2023年に入ると冬期にインフルエンザの小規模な流行があり、その後もだらだらと患者の発生がみられていましたが、9月に入ってから患者数の急激な増加が見られています(図1)。例年のインフルエンザの流行時期にはまだかなり早ですが、この3年間はインフルエンザの感染機会に乏しく、インフルエンザウイルスに対する免疫が低下しているいわゆる感受性者がかなり蓄積していますから、一旦火がつくと国内では本格的な流行に移行する可能性は十分にあると思われます。今シーズンの**職員対象のインフルエンザワクチン接種は10月23日～27日までの5日間**を予定しています。インフルエンザの流行が本格化する前に職員へのワクチン接種を終えてしまいたいと考えて例年10月の第4週頃に実施をしていますが、今年は例年とは異なる時期での流行となりそうであり、流行が本格化するまでにワクチンの接種が済むことを願っています。

咽頭結膜熱

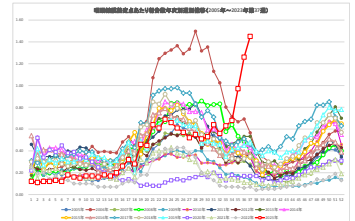


図2. 咽頭結膜熱の定点当たり報告数年次別週別推移 (2005年～2023年第37週)

次に咽頭結膜熱について触れたいと思います。日本国内における咽頭結膜熱の患者発生数は(定点当たり報告数)は例年であれば6月と12月にピークを迎えるのですが、2023年は一旦落ち着きかけていた患者発生数が8月下旬ころより再び増加し、9月には急激な増加を示しています。咽頭結膜熱が、9から10月にここまで大きな流行となったことは過去20年間を見ても例はありません。加えて大阪を中心とした近畿地方は全国で最も流行している地域であり、咽頭結膜熱だけではなく、流行性角結膜炎等の他のアデノウイルス感染症全般について、流行が本格化しつつあるようです。

新型コロナウイルス感染症の登場と流行以降、3年以上に渡って様々な呼吸器感染症の流行は抑制的となり、患者発生数は大幅な減少がみられていましたが、2023年の春季以降それまで抑えられていた感染症の流行が復活しつつあります。これまでの流行期間とは異なる時期に流行が発生し、感受性者の蓄積もあってか、その流行規模は例年よりも大きくなる場合が多いと思われます。2023年の春以降、様々な呼吸器系の感染症の流行が復活しつつあるのは、新型コロナウイルス感染症の人類に与えているインパクトが低下しつつあることの証左であるかもしれません。これからもインフルエンザをはじめとする呼吸器系感染症の動向には注意が必要です。(感染管理室長 安井 良則)

必ず見てね！ケミカルインジケータ

サプライ部から提供する製品には必ず菌やウイルスを殺滅した事を可視化する為の重要なアイテムがセットされています。清潔操作をした事のある皆さんは、必ず一度は目にしていると思います。サプライ部が提供する器材はQMSIに定められた工程を通過し、**菌やウイルスが死滅したことを可視化**する必要があります。その重要な役割を担うアイテムが**ケミカルインジケータ**です。ケミカルインジケータは決して私が適当に選定しているのではなく、ISO11140-1でタイプ分類され、用途に応じて指定されています。当院ではタイプ1,2,4,5,6を用途に応じて使い分けています。タイプ分類で皆さんに注目して頂きたいタイプ4,5,6には、SV値「ステータドバリュー」が設定されています。タイプ1～3では菌やウイルスを殺滅出来る条件下でなくても、状況次第で変色する事があります。一方、**タイプ4～6では、SV値で指定された条件をクリアしないと変色しないように設計されています**。従って、重要なのは皆さんが患者に滅菌物を提供する際には、**タイプ4以上のケミカルインジケータの変色を確認**して頂く必要があります。その事により、菌やウイルスが表面に生残しない安心・安全な器材を患者に提供できる仕組みになっています。今回記事を書くことで改めて「滅菌を可視化し、より安心・安全な器材を提供する事」を再認識し、なんとなく中材業務の本質をみたくなれた今日この頃でした…。(サプライ部室長 平松 治)

| タイプ分類 | 写真 | sv値 |
|--|--|---------------------------|
| タイプ1 プロセスインジケータ | 【滅菌パック】 AC 滅菌前/グリーン → AC 滅菌後/グリーン 【滅菌前】グリーン 【滅菌後】みどり 【PCD:BD】 | 設定無し |
| タイプ2 特定試験のためのインジケータ (サプライセンター内で使用) | 【滅菌前】青 → 【滅菌後】黒 【滅菌前】青 【滅菌後】黒 | 設定無し |
| タイプ4 複数重要プロセスインジケータ | 【滅菌パック内】 AC → AC 【滅菌前】みどり 【滅菌後】黒 | SV=135℃ 6.5分 変色要確認 |
| タイプ5 インテグレーションインジケータ | 【滅菌工程確認用】 → 【滅菌前】赤 【滅菌後】黒 | SV=134℃ 2.2分 LOT Noによる |
| タイプ6 エミュレーションインジケータ | 【滅菌前】赤 → 【滅菌後】みどり 【滅菌前】赤 【滅菌後】みどり | SV=134℃ 18分 変色要確認 |

ケミカルインジケータ【タイプ分類:ISO11140-1】

